

LPガスCP情報(2016年12月積み)

1. 12月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン **380** ドル (前月比-10 ドル)

ブタン **420** ドル (前月比-20 ドル)

① LPガススポット市況等

LPガス市場をみると、原油・石油製品市況が乱高下するなか、需要期を迎えるも供給は潤沢、日韓の在庫は高く、中国の需要はみられたが、本格的なスポット需要は盛り上がりず上値が重い展開。産ガス国のアクセプタンスがブタン付カーゴで若干の遅れとなったが、アフリカ、米国玉の大量入着(160万 ト) 予定で需給緩和感、12月CP待ちの様子見となった。CP先物は第2週、第3週に軟化し、極東CFR市況は第4週末にプロパン380 ドル 、ブタン420 ドル に反発した。ナフサは原油市況に連れ軟化し月間平均は427 ドル 、前月比14 ドル の下落。バンカーオイルは、11月月間平均で276 ドル 、前月比1 ドル の上昇。

一方、米モンベルビュープロパンスポット価格(FOB)は、全米プロパン在庫が増加し原油市況の下落を受けて軟化、290~270 ドル ドル どころで推移した。

12月CPは前年同月比プロパン80 ドル 、ブタン55 ドル 下落。原油(アラビアン・ライト)熱量等価換算では、前月に比べプロパン10ポイント、ブタン8ポイント高、前年同月比ではプロパン33ポイント、ブタン26ポイントそれぞれ低い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	29	27	26	25	27
CP先物指標：P	375	365	365	370	369
CP先物指標：B	415	405	405	410	409

② 原油市況等

WTIは11月46.67 ドル でスタート、9月末のOPECの8年ぶり減産合意を受けた急騰も口先介入のメッキがはがれた形。下旬にはイランザンギャネ石油相、ロシアプーチン大統領の発言で一時48 ドル まで戻したが、米原油在庫が輸入量の増加、生産量の下げ止まり(掘削リグ数は増加)で大幅に増加、高水準在庫が続き供給過剰感が高まった。28日のOPEC専門会議でもイラン、イラクの減産割り当ては合意できずサウジが合意破棄まで示唆、ロシア等非OPECは減産ではなく増産凍結を主張しており30日の総会を前にWTIは一時45 ドル を割り込んだ。

一方、NYMEXのWTI総取組高は中旬以降200万枚超まで増加したが、大口投機玉の買越残高は10月11日時点の41.4万枚(過去最高水準)から大幅減少が続き、22日時点で27.6万枚、買建玉は3万枚の減少だが、売建玉が12万枚の増加となった。

○11月積みアラビアン・ライト(11月1~29日)は43.4 ドル (前月比-5.49 ドル)

熱量等価AL100% プロパン 355.83 $\text{ドル}/\text{ト}$ ブタン 350.95 $\text{ドル}/\text{ト}$

AL比 プロパン 106.79% ブタン 119.68%

*上記アラビアン・ライトはEIN推計値、確定値は後日、Webサイトでご確認ください。

2. 2016年12月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
21~20日①	106.47	41,000	45,800	+3,200	+3,800
26~25日②	107.89	41,500	46,400	+3,600	+4,300
1~31日③	109.12	42,000	46,900	+3,700	+4,500

*TTS平均について、11月9日米大統領選トランプ当選によりリスク回避で円急騰、午前の106.07 $\text{円}/\text{ドル}$ から103.22 $\text{円}/\text{ドル}$ に修正された。上記平均為替レートは修正後のレート適用。

①が10月21日~21月20日、②は10月26日~11月25日、③は11月1~30日まで、①、②、③ともに12月仕切適用。①、②、③いずれも前月・当月CP50%案分。なお、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。

*2017年1月から一部元売のプロパン仕切のフォーミュラ変更が予定されています。